

---

## 【創 作】

### しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上物語屏風アート展

小島 茂 (小島アートラボ主宰)

## 【Art Work】

### Folding Screen Art Show: A Fairy Tale of Rabbits Presenting Rabbit Rice Cake Sweets to Shogun Tokugawa Ieyasu

Shigeru Kojima

---

**【Abstract】** Kojima Art Laboratory has been engaged in the Shizu-Okashi (Japanese-style confectionery associated with Shizuoka-city) art project since 2008 to promote communication and innovation in the community. As part of the project, we are now holding an art show using as a motif rabbit rice cake sweets, one of the three traditional confectioneries in Shizuoka-city.

The show presents the art works featuring a fairy tale of rabbits giving rabbit rice cake sweets as a gift to Shogun Tokugawa Ieyasu, who lived in Sunpu Castle, Shizuoka-city, in the early 1600 s. The art works are comprised of three folding screens, a bead castle, and two shaped articles based on the fairy tale. The show is scheduled to be held in several shops and public facilities in the community.

---

## はじめに

前稿で述べたように、江戸時代より、駿河（現静岡市）には、安倍川もち、追分ようかん、兎餅という三大銘菓があり、現在も引き継がれている。しかしながら、兎餅は他の二つの和菓子に比べると知名度も低く知らない人が圧倒的に多い。そこで、しずお菓子まちづくりアートプロジェクトでは、この兎餅をモチーフに造形作品を制作し、地域巡回展示を通じて地域コミュニケーションを図ることにした。<sup>(1)</sup>

本稿で取り上げる「しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上物語屏風」もその一環として制作した作品で、うさぎの集団が兎餅をつくって駿府城の主である家康公に献上するまでの物語を絵で表現したものである。絵は平安時代の鳥獣戯画や室町時代に流行したお伽草子のイメージを重ねたもので、もともとは絵巻のつもりで制作したものだが、展示スペースとの関係もあり立体的に展示できる屏風とした。

アート展では、屏風と並んで、屏風の絵の中から特徴的な場面を取り出して制作した造形作品も展示してある。具体的には、「満月の兎餅つき」、「ビーズの駿府城」、「徳川家康公への兎餅献上図」であり、ビーズと照明を活用して光と色彩による幻想的な空間を醸し出すための工夫をこらした。さらに屏風の物語は音声メロディが多いのでナレーションを入れた録音ビデオも制作し、聞くことができる。

作品と解説

作品①：しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上物語屏風（3枚のうちの1枚）<sup>(2)</sup>



しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上物語のあらすじ

満月の夜、富士が浮かぶすすきの丘で、兎が餅をついている。餡子を練り、ついた餅に餡子を詰め兎餅をつくっている。

兎餅が出来て、亀が列を作って兎餅を運んで行く。兎も踊りながら街までついて行く。

街で兎餅をふるまうとみんな喜んで食べている。猿も犬も蛙も雀も喜んで食べている。

兎餅の噂は駿府のお城にも届き城内でも評判になる。ある日、お侍が兎のところに来て兎餅を徳川家康公に献上するよう通達する。

献上用の兎餅が出来て、いざ出発。兎餅を籠に乗せた行列がお城に向かって進んでいくと、遥か向うにお城が見えてきた。

お城では天守閣まで通され、兎が兎餅を差し出すと家康公は頬をふくらませて舌鼓。

その後、兎餅は定期的に献上されることになり駿府の城まで兎餅道中ができたという。

屏風は上記の物語を絵と文で表わしたもの。

作品②：満月の兔餅つき<sup>(3)</sup>



満月の夜、富士が浮かぶすすきの丘から  
歌の音色が聞こえてくる。

♪ べったんべったん、とんとんとんとん  
ぐるぐるとんとん、とんとんとんとん  
じゃりじゃりぽっぽ じゃりぽっぽ  
ぐつぐつぶくぶく ぶーくぶく  
くるくるぎゅぎゅ ぽんぽんぽん ♪



左記の絵を立体的に表現したもの

作品③：満月の兔餅つき  
(バリエーション)<sup>(3)</sup>



兔が餅を突いている

♪べったんべったん、とんとんとんとん  
ぐるぐるとんとん、とんとんとんとん♪



作品④：ビーズの駿府城<sup>(4)</sup>



うさぎ餅が出来て、いざ出発  
うさぎ餅を籠に乗せた行列が  
お城に向かって進んでる

「エイコラジョッショ、ヨイジョッショ」



左記の城をビーズの駿府城として共同制作

作品⑤：満月の兎餅つきと  
ビーズの駿府城



遥か向うにお城が見えてきた。

♪お城だお城 お城を目指せ  
お城だお城 お城に上れ♪



作品⑥：徳川家康公への兎餅献上図<sup>⑤</sup>



お城では天守閣まで通された。  
兎が兎餅を差し出すと  
家康公は頬をふくらませて舌鼓  
「美味じゃのう。あっっぱれあっぱれ。」



左記の絵を立体的に表現したもの

作品⑦：満月の兎餅つき、ビーズの駿府城、徳川家康公への兎餅献上図



## 今後の展開

「しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上屏風アート展」は今後とも地域を巡回展示する予定である。本稿では、絵も写真も白黒であるためインパクトが弱いが、実際はカラーで、展示会場で実物を見ることによって確かめられる。<sup>(5)</sup>

筆者が主宰する「しずお菓子・まちづくりプロジェクト」はもともと地域のコミュニケーションとイノベーション（創造的な取り組み）を目指しているが、前回のアート展示によりひとつの出会いがあり今回のアート展示が生まれたように、今回の展示も、新たな出会いとささやかでも何らかのイノベーションに繋がることを期待したい。

## 注)

1. 小島 茂「しずお菓子・兎餅、徳川家康公への献上絵巻」「経営と情報」2012.11. pp.39-45
2. 制作 小島 茂
3. 制作 小島 茂
4. 共同制作 小島 茂 小林愛美（小島アトラボ所属）
5. 制作 小島 茂 助手 小林愛美（小島アトラボ所属）
6. 2013年3月現在、カフェドアゴラ（静岡市）に展示中。